

令和 5（2023）年度の取組状況について（協議会事業）

総事業費：23,183 千円（3 月末時点）

日本遺産魅力増進事業（100%委託費）【決算額：13,496 千円】

- 誘客に” つながる” 炭鉄港情報発信事業（新規）
 - ・ ANA 公式サイト内「Here We Go! Japan」で日本遺産「炭鉄港」サイトを公開
 - ・ ピーチアビエーション メールマガジン配信
 - ・ ANA 公式 YouTube「BULE SKY NEWS」で【Vlog】札幌から日帰りで行ける！ANA CA が北海道の日本遺産「炭鉄港」を巡る！を公開
 - ・ レンタカー会社と連携したアンケートキャンペーンの実施、めしスタンプラリーとの連携（札幌、新千歳の 15 社 26 事業所協力）
- 未来へ” つながる” 炭鉄港 魅力発掘事業（新規）
 - ・ 道内学生、観光事業者との連携による「炭鉄港の楽しみ方」深掘調査
 - ・ 「つながる炭鉄港」交流会実施（北海道教育大学岩見沢校・札幌大学・北海学園大学・北海商科大学が参加）
- 言葉の壁を越えて” つながる” インバウンド誘客を見据えた多言語解説整備事業（新規）
 - ・ 炭鉄港ガイドマップの英語版・繁体字版製作
- 同じテーマで” つながる” 日本遺産連携事業（新規）
 - ・ 兵庫県「銀の馬車道 鉱石の道」事業担当者、構成市町職員と炭鉄港推進協議会構成員による現地視察及び民間団体との学習会の実施（北海道・兵庫県）

文化庁補助事業（65%補助）【決算額：2,180 千円】（うち補助金：1,388 千円）

- ガイド付きミニツアー整備事業（継続）【事業費：884 千円】
 - ・ 駅を起点としたガイド付きミニツアーの造成
 - ・ ツアーガイドを対象とした講習会
 - ・ ガイドツアー自主実施分広報資材作成費用（補助対象外）
- 炭鉄港めしスタンプラリー整備事業（継続）【事業費：1,296 千円】
 - ・ 構成文化財及び「炭鉄港めし」を提供する店舗を巡るオンラインスタンプラリーの構築
 - ・ スタンプラリー実施による地域への経済効果、ランニングコストについての検証

観光庁補助事業（定額補助）【決算額：6,000 千円】（うち補助金：5,000 千円）

- 炭鉄港関連施設のかつての姿を復元する AR コンテンツの制作（新規）
 - ・ 小樽、室蘭、赤平で実施
- AR と連動した多言語解説コンテンツ（新規）
 - ・ 日本語、英語対応
- ポータルサイトのメイン画面、構成文化財の英語対応化（新規）
- 多言語対応のガイド養成講座（新規）
 - ・ 夕張石炭博物館での講習会実施

協議会事業【決算額：1,507千円】

- **炭鉄港カードキャンペーン事業（継続）【事業費：302千円】**
 - ・ 第3弾炭鉄港カード配布に伴うキャンペーン実施
- **他の世界遺産・日本遺産との連携（継続）【事業費：284千円】**
 - ・ 日本遺産フェスティバルへの参加
- **共通サインの設置（新規）【事業費：500千円】※未確定**
 - ・ 未設置の構成文化財10カ所に設置
- **その他補助金対象外経費【事業費：421千円】※未確定**
 - ・ 日本遺産魅力増進事業対象外経費（184千円）
 - ・ スポーツ文化ツーリズムアワード授賞式等参加（79千円）
 - ・ 消耗品費、振込手数料等、景品等送料（128千円）
 - ・ 日本遺産連盟負担金、北海道遺産協議会年会費（30千円）

事業名	“つながる”炭鉄港 魅力増進事業
事業費	13,496,281円（文化庁調査委託事業を受託（100%国費））
<p>【目 的】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日本遺産認定後のコロナ禍の影響で実施できていなかった全国的な誘客。 2 若年層への普及啓発につなげる炭鉄港の新たな魅力発掘。 3 インバウンド誘客の受け入れ体制の整備。 4 類似テーマの日本遺産地域との相互連携の継続。 <p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 誘客に”つながる”炭鉄港情報発信事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ANA と連携した情報発信（ANA 公式の特設ページ、動画制作・配信、メルマガ配信） ・レンタカー事業者（札幌・新千歳周辺）と連携したキャンペーンの実施 2 未来へ”つながる”炭鉄港 魅力発掘事業 <ul style="list-style-type: none"> ・複数の大学と連携した魅力発掘調査、発表。 3 言葉の壁を越えて”つながる”インバウンド誘客を見据えた多言語解説整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・多言語パンフレットの制作。（英語、中国語（繁体字）） 4 同じテーマで”つながる”日本遺産連携事業 <ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産「銀の馬車道 鉱石の道」との関係者意見交換。 <p>【実施結果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 誘客に”つながる”炭鉄港情報発信事業 <ol style="list-style-type: none"> ① ANA と連携した全国的な情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・YouTube:約 3.5 万回再生 （広告表示:2.8 万回（うち 95%が道外）） ・特設ページ PV 数：約 1.4 万回（1ヶ月） ・ピーチアビエーションメルマガ配信（1月に2回（各約 250 万人）） ② レンタカー事業者と連携したアンケートキャンペーン <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間：R5.12.24～R6.1.31（総回答者数 117 名） 2 未来へ”つながる”炭鉄港 魅力発掘事業 <ol style="list-style-type: none"> ① 大学と連携した魅力発掘 <ul style="list-style-type: none"> ・北海学園大学：室蘭線沿線の栗山、安平、岩見沢の魅力を発信する動画を制作（計 8 本） ・教育大学岩見沢校：アートをテーマとした学生個人の視点からの魅力発掘、事業提案 ・北海商科大学：炭鉄港をテーマとした観光商品造成、商品の提案の授業 ・札幌大学：夕張の地域振興をテーマとしたワークショップ ② 成果発表会：R6.1.24（土）（北海商科大学） 	



3 言葉の壁を越えて”つながる”インバウンド誘客を見据えた多言語解説整備事業

- ・炭鉄港ガイドマップの英語版及び繁体字版を作成し、各 2600 部印刷
- ・炭鉄港エリア各市町、札幌駅、札幌市内ホテルなどで配布中



4 同じテーマで”つながる”日本遺産連携事業

- ① 「銀の馬車道 鉱石の道」地域から炭鉄港地域への視察・意見交換
 - ・R5. 12. 19～22 実施
 - ・「銀の馬車道 鉱石の道」地域から 6 名が参加
- ② 炭鉄港地域から「銀の馬車道 鉱石の道」地域への視察・意見交換
 - ・R6. 1. 15～18
 - ・炭鉄港地域から 10 名が参加
- ③ 今後の展開
 - ・本事業での意見交換や交流で生まれた発見を活かし、R6 年度以降に商品開発や周遊などの具体的な成果を出していく。



事業名	ガイド付きミニツアー整備事業
事業費	840,000 円 (65%文化庁補助 546,000 円、自己負担 294,000 円)

【目 的】

日本遺産「炭鉄港」の構成文化財やその周辺の文化を体験できるガイド付きのミニツアーを造成するとともに、ガイド向けの講習会を実施し、継続して実施可能な滞在コンテンツの整備を行う

【事業内容】

- 1 現地集合、現地解散可能で参加しやすいガイド付きミニツアーのコース造成を行う。
- 2 ガイド向けの講習会を開催人材の育成を図る。
- 3 ツアーの価格設定とそれに応じた参加状況等の事業収支の検証を行う。



【実施結果】

- 1 ガイド付きミニツアー整備
 - ① JR 美唄駅発着「乗合タクシーで行く 三菱美唄炭鉱竖坑櫓」
 - ・日時：R5. 10. 21 (土) 13:00～15:00
 - ・料金：3,000 円
 - ・参加者 11 名
 - ② JR 深川駅発着「乗合タクシーで行く 沼田町昭和炭鉱史跡」
 - ・日時：R5. 11. 4 (土) 13:00～16:00
 - ・料金：3,000 円
 - ・参加者 6 名
 - ③ JR 滝川駅発着「鉄道写楽家と行く 旧三井芦別鉄道炭山川橋梁」
 - ・日時：R5. 11. 5 (日) 9:00～15:00
 - ・料金：5,000 円
 - ・参加者 2 名
 - ④ JR 赤平駅発着「炭鉱女子と行く 赤平市炭鉱遺産ガイドダンス施設と街歩き」
 - ・日時：R5. 11. 11 (土) 9:30～13:10
 - ・料金：1,000 円
 - ・参加者 15 名
 - ⑤ JR 岩見沢駅発着「いままでありそうでなかった 炭鉄港めしの魅力に迫る 1 日」
 - ・日時：R5. 11. 25 (土) 9:30～15:00
 - ・料金：5,000 円
 - ・参加者 10 名

2 ガイド養成講座

- ・日時：R5. 10. 14（土）10:00～16:30 ・料金：2,000円 ・参加者13名
- ・内容：①ガイド体験（伴野 卓磨氏によるまち歩きガイド）
②ガイド意見交換（1の体験を踏まえた意見交換）
③ガイド実践

事業名 炭鉄港めしスタンプラリー事業

事業費 1,295,305円（65%文化庁補助841,948円、自己負担453,357円）

【目的】

炭鉄港地域の伝統的な食文化「炭鉄港めし」と、炭鉄港を直接想起させるような新たな炭鉄港めしの、炭鉄港地域における定着、地域内外での炭鉄港めしの認知向上及び炭鉄港地域への周遊促進を目的としたスタンプラリーを行う。

【事業内容】

炭鉄港地域の周遊等を目的として、炭鉄港めしを食べることのできる各地の店舗や、構成文化財等をチェックポイントとした炭鉄港めしスタンプラリーを行う。



【実施結果】

- ・期間：R5. 11. 8（水）～R6. 2. 18（日）
- ・実施方式：LINEを利用したオンラインスタンプラリー
- ・参加者：1,846名 ・応募者：125名 ・参加業者：59事業者（63店舗）

事業名 インバウンド誘客コンテンツ制作事業

事業費 6,000,000円（観光庁補助5,000,000円、自己負担1,000,000円）

【目的】

日本遺産「炭鉄港」構成自治体へのインバウンドを中心とした新たな観光誘客

【事業内容】

- 1 ARコンテンツの開発
- 2 炭鉄港ポータルサイトの多言語化
- 3 多言語対応ガイド養成



【実施結果】

- 1 ARコンテンツの開発
既に見ることができない炭鉄港関連施設をARで復元、音声ガイダンスを行えるアプリを開発した。
 - ・アプリ配信日時：R6. 2. 1～（APP STORE、Google Play store）
 - ・復元施設：北炭赤間炭鉱選炭工場（赤平市）、北炭ローダー（小樽市）、いぶり丸（室蘭市）



- 2 炭鉄港ポータルサイトの多言語化
翻訳機能を実装（日本語、英語、中国語（簡体・繁体）、韓国語）

3 多言語対応ガイド養成

① 炭鉄港関連施設でのリアルの講習会

英語の習熟度別に講習を行った後、実践編として夕張市石炭博物館でのガイドを体験した。

- ・開催日時：R5. 10. 28（土）10:30～17:00
- ・参加人数：8名
- ・講師：大山幸彦氏、青木良英氏



② ARを使ったガイディングの講習会

炭鉄港ガイド登録者や地域の関係者を対象に AR アプリの利用方法をレクチャーした。

- ・実施日時：R6. 2. 11（日）（小樽、室蘭）、2. 12（月/祝）（赤平）
- ・参加者：計14名
- ・講師：大山幸彦氏



事業名 炭鉄港カードキャンペーン事業

事業費 302,000円（全額協議会負担）

【目的】

令和5（2023）年7月以降に配付開始する第3弾炭鉄港カードについて、期間限定キャンペーン等を実施することにより周遊促進効果を高める。

【事業内容】

カードをコンプリートした参加者を対象とした炭鉄港カードキャンペーンの開催

【実施結果】

- ・配付種類：全13種
- ・配付期間：2023年7月26日（水）～2023年10月29日（日）
- ・応募者数：625名
- ・配付枚数：17,952枚



事業名 日本遺産フェスの参加

事業費 283,490円（全額協議会負担）

【目的】

日本遺産に認定されている各地域の団体が一堂に会し、全国の日本遺産の魅力を一体となって発信するとともに、認定地域相互の交流を図り、日本遺産の一層の発展を目指す。

【事業内容】

- 1 日本遺産フェスティバルへのブース出展
- 2 エクスカーション参加
- 3 懇親会参加

【実施結果】

1 実施概要

ブース実施日：令和5年11月4日（土）、5日（日）10：00～16：00

会場：東京たま未来メッセ（東京都八王子市明神町3-19-2）

2 参加者（会長・副会長所在市町、事務局から6名が参加）

- ・小樽市産業港湾部観光振興室 尾本主査
- ・室蘭市経済部観光課 大久保課長
- ・夕張市地域振興課 熊谷主事補
- ・岩見沢市企画財政部企画室 土屋主事
- ・北海道空知総合振興局地域創生部地域政策課 毛利主事、曾根主事

3 出展内容

- ・炭鉄港紹介動画放映、ポスター展示及びパンフレット等配布
- ・体験ワークショップ（石炭重さ当て）
- ・ノベルティ配布（炭鉄港缶バッジ、室蘭ピンバッジほか）、物販（小樽クリアファイルほか）

4 出展の状況

- ・日本遺産認定団体104団体のうち、94団体が出展。
- ・メイン会場（ブース設置場所）来場者は延べ40,000人。
- ・前年度好評だった石炭の重さ当てゲームと、正解者が回せるガチャガチャを設置した。

事業名	共通サインの設置
-----	----------

事業費	500,000円
-----	----------

【目的】

日本遺産「炭鉄港」の構成文化財を紹介する共通デザインの看板を整備する。

【事業内容】

構成文化財の紹介看板未設置の構成文化財10カ所に①または②の共通デザイン看板を設置。

- 1 プレート型：板面面積 縦1000mm×横450mm程度
- 2 バス停型：中央バスから委譲を受けたバス停に①のプレートを固定
バス停 高さ2000mm×幅450mm程度

【実施結果】

- 1 プレート型（4基）
 - ・北炭新幌内砒坑口
 - ・三笠市役所庁舎
 - ・旧栄小学校（安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄）
 - ・唐松駅舎
- 2 バス停型（6基）
 - ・小林酒造建造物群
 - ・旧北炭夕張炭鋳模擬坑道（夕張市石炭博物館）
 - ・旧頼城小学校（星槎大学）校舎及び体育館
 - ・旧北炭鹿ノ谷倶楽部（夕張鹿鳴館）
 - ・旧北炭清水沢水力発電所
 - ・小樽中央市場



事業名	その他の経費
-----	--------

事業費	420,975円
-----	----------